

歴史研究部 冬の体験学習

歴史研究部では、12月16日（土）に、美濃市教育委員会人づくり文化課のご支援のもと、現在屋根の葺き替え修理を行っている「洲原神社」を訪れ、「檜皮葺（ひわだぶき）」について学習しました！

学習1「文化財の修理とは・・・」

- 美濃市教育委員会人づくり文化課の石井さんから、レクチャーを受けました。
「文化財の修理では、できる限り当初の部材を残すことが大切なのです・・・」

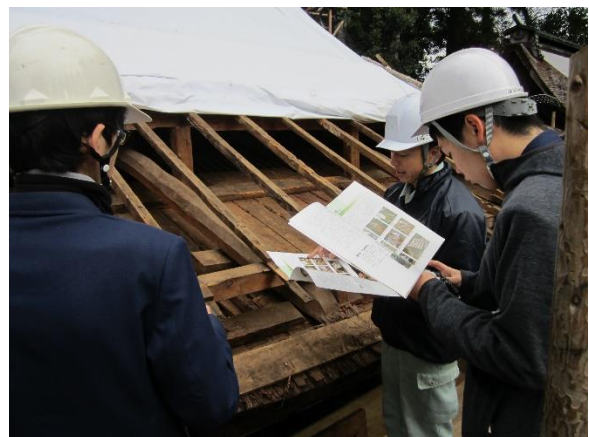


学習2「実際に屋根を見てみよう！」

- 実際に屋根を見せてもらいました。実際に屋根の葺き替え作業を行う「株式会社 村上杜寺工芸社」の現場監督の方からいろいろとご説明いただきました。



「足場」を登り・・・



屋根に到着！



これが「和釘」



「軒付」

学習3 「檜皮（ひわだ）葺きに使う道具と材料について」

○監督に檜皮葺に使う道具と材料について説明していただきました。



手前が「チョンナ」、真ん中と奥が「檜皮包丁」



「檜皮包丁」



これが檜皮（ひわだ）・・・ヒノキの木の皮。
使う場所によって、長さや形状が異なるのです。



これが「竹釘」・・・竹で作った釘。
これで檜皮を屋根に固定するのです。

学習4「檜皮葺を体験しよう！」

○監督に檜皮葺を体験用のもので実践していただきました。まさにフロ技でした！！
その後実際に体験させてもらいました。言うまでもなく難しい！！



檜皮に水を付けて（接着させる）・・・



1. 2cm上方にずらして、並べる・・・



竹釘を刺して、これ（屋根金槌）で・・・



打つ！・・・早い！



では挑戦！まずは「竹釘」を口の中に含んで・・・「痛い！」

1時間半程でしたが、貴重な体験をさせていただきました。美濃市教育委員会人づくり文化課の石井さん、株式会社村上杜寺工芸社の皆様、本日は本当にありがとうございました。